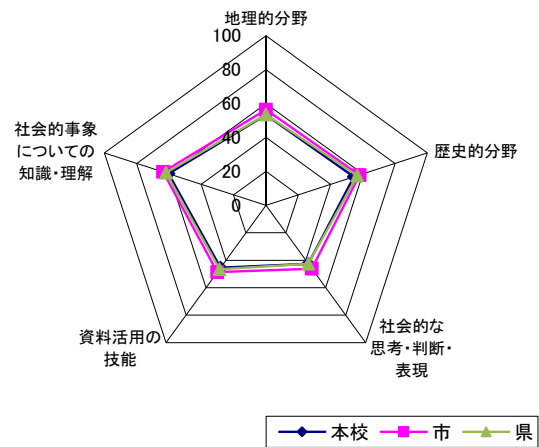


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	地理的分野	53.3	56.4	53.5
	歴史的分野	54.5	58.0	56.6
観点	社会的な思考・判断・表現	42.6	46.1	42.5
	資料活用・技能	45.4	48.6	46.5
	社会的な事象についての知識・理解	60.3	63.6	61.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	○北アメリカ州の単元については、宇都宮市の平均を6ポイント上回るものもあるなど、概ね定着できていると言える。また、宗教の分布図の読み取りも概ね良好である。 ●南アメリカ州の単元の問題は、宇都宮市の平均を大きく下回っている。また、資料を参考にしながら、理由を考察する問題を苦手としている生徒が多い。	・授業において、資料を考察する学習を通して、自身の言葉で発言させたり、記述させたりする機会を増やしていく必要があると考える。また、南アメリカ州の単元については、復習していきたい。
歴史的分野	○奈良時代～平安時代の政治的な動きについては、概ね定着できている。 ●それぞれの時代の文化について及び、室町時代の戦乱の様子、日明貿易の内容が定着できていない。宇都宮市の平均を大きく下回っている。	・歴史授業の最初(最後)に、基礎的な社会用語の1問1答や穴埋めの小テストを実施するなど、復習する機会を意図的に設ける必要があると考える。 ・年表を活用して、各時代、特に鎌倉時代以降の流れを確認させたい。また、文化についても特色などをもう一度整理させたい。